

クマの出没にご注意ください

クマと遭遇しないために

- ◇ 朝夕は山に近い場所へ行かない。(クマは朝夕に活発に動きます。)
- ◇ 山ぎわの藪を刈払う。
(クマは山づたいに移動しますので、人のいる地域に近づけないよう、クマの隠れ場所になる山ぎわの藪を刈払って人の目が届きやすくします。)
- ◇ 野外で作業を行うときは、ラジオなどを流して、クマに自分の存在を知らせる。
(クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため、人がいることを察知し、人を避けます。)
- ◇ 柿、栗、りんご、ぶどうなどのクマが好む果物を適切に収穫処理し、野菜なども未収穫のものや残渣を畑に残さない。これらの木が集落内にあって、不要であれば、伐採する。



クマと遭遇してしまったら

- ◇ 子グマを見たらそっと立ち去る。(近くに親グマがいます。)
(近くには必ず母グマがいます。近づくと、母グマは子グマの危険を感じて攻撃してきます。)
- ◇ クマから目を離さないように、静かにゆっくりと後退して離れる。
(大声を出したり、ものを投げつけたりすると、クマが興奮して襲ってきます。)
- ◇ 車で走行中に遭遇した場合は、絶対に車から出ず、速やかに現場を離れる。クラクションを鳴らしたりライトで照らすなどしてクマを刺激しない。
- ◇ クマは逃げるものを追う習性があるので、走って逃げたり、背中を見せて逃げたりしない。

<問合せ先>

氷見市産業振興部 農林畜産課 林業振興・鳥獣対策担当

Tel 30-7088 74-8100 (休日)